

令和4年度 後期学校評価報告書

鬼北町立近永小学校

【評定の評価基準】 A：80％以上達成 B：70％以上達成 C：60％以上達成 D：50％以上達成 E：50％未満

【アンケート結果】 4：できている 3：おおむねできた 2：あまりできていない 1：ほとんどできていない

※集計により100%に満たない場合がある。

項目	評価指標	評価	考察（◇）と改善方策（◆）	評価資料	評定	肯定率 (4+3)	4	3	2	1
人間力	①学校は、笑顔で元よく挨拶ができる児童の育成に努力している。	A	◇ 個人差がある。機会をとらえて指導を継続する必要がある。 ◇ 声を出すが、目線合わない子どももいる。相手の顔を見て挨拶をするよう指導が必要である。 ◆ 教師、児童会が率先して手本となる挨拶を行い、チャンス指導を継続する。家庭での挨拶については、家庭への呼び掛けを行う。	保護者	B	75.7%	12.5%	63.2%	22.8%	1.5%
				地域住民	A	100.0%	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
				教職員	A	80.0%	13.3%	66.7%	20.0%	0.0%
				児童	A	89.3%	53.1%	36.2%	9.7%	1.0%
	②子どもたちは、話を聞くときには、相手を見てしっかり聞くことができる。	B	◇ 前期と同様、静かに話を聞こうとする児童は増えているが、教師の評価は低い。 ◇ 姿勢だけでなく、目を向ける指導を言い続け、目が合うようになってきた。 ◆ 姿勢だけでなく、相手に目を向けること意識させる指導を継続して行う。話や指示を聞き、行動できる児童を増やしていく。	保護者	A	85.3%	16.9%	68.4%	12.5%	2.2%
				地域住民						
				教職員	C	66.7%	6.7%	60.0%	33.3%	0.0%
				児童	A	96.9%	66.3%	30.6%	3.1%	0.0%
	③子どもたちは、相手を思いやりながら、協力し合って学校生活を送っている。	A	◇ 行事やそうじの時、上学年がよく世話ができています。 ◇ 運動会やたかつき集会を経験し、協力する雰囲気が高まっている。 ◇ 言葉遣いに関しては、継続した指導が必要である。 ◆ 上学年が下学年を思いやる行動が見られる。感染症対策を講じながら、異学年交流ができるよう工夫したい。言葉遣いについては、チャンス指導に心掛ける。	保護者	A	93.0%	34.9%	58.1%	6.2%	0.8%
				地域住民	A	100.0%	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%
				教職員	A	80.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
				児童	A	96.9%	74.0%	23.0%	2.6%	0.5%
	④児童、教職員で協働して清掃活動に努め、校内・校舎の周りの環境は気持ちよく整備されている。 ※児童の問い「そうじのさしすせそを守って掃除をしていますか。」	A	◇ 黙動している児童が多い。8割以上の児童が静かに一生懸命掃除をしている。 ◇ 道具を正しく使って、きばきできるようにしたい。 ◆ 「そうじのさしすせそ」を再確認し、掃除に取り組ませるとともに、「自分たちの学校は、自分たちできれいにする。」という意識を定着させる指導を行う。	保護者	A	98.5%	55.6%	43.0%	1.5%	0.0%
				地域住民	A	100.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
				教職員	A	93.3%	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%
				児童	A	96.9%	80.0%	16.9%	3.1%	0.0%

活力	心身ともに健康で、一生懸命取り組む児童	⑤子どもたちは、自分から進んで体力づくりに取り組んでいる。	A	◇ 休み時間には、外に出て遊んでいる児童が多い。昼休みには、鬼ごっこやサッカーなど、誇い合って遊んでいる。 ◇ 目標を持って、体力づくりに取り組んでいる児童が増えてきている。 ◆ 授業で個々に体力づくりの目標を持たせるとともに、目標達成の喜びを味わわせる取組を引き続き行う。新型コロナウイルス感染症の状況を判断しながら、全校遊びや全校で取り組める運動のイベントを開催して、運動の機会を増やす。	保護者	B	73.7%	29.2%	44.5%	23.4%	2.9%
					地域住民						
					教職員	A	86.7%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%
					児童	A	91.8%	61.2%	30.6%	6.1%	2.0%
		⑥子どもたちは、行事や体験活動に意欲的に参加している。	A	◇ 活動制限があったが、運動会、たかつき集会和行事ごとに児童が生き生きと取り組み、力を付けてきた。 ◇ 新型コロナウイルス感染対策には十分配慮し、活動を工夫してきた。 ◆ 活動が制限される中であっても感染防止策を講じながら、児童が意欲的に活動できるよう、工夫して活動を計画する。	保護者	A	93.9%	43.9%	50.0%	6.1%	0.0%
					地域住民						
					教職員	A	93.3%	53.3%	40.0%	6.7%	0.0%
					児童	A	93.9%	67.3%	26.5%	4.1%	2.0%
		⑦子どもたちは学校へ行くのを楽しみにしている。	A	◇ 明るい表情で登校してきて、朝から元気である。しかし、評価に「2」と「1」があり、学校を楽しみにしていない児童の存在が課題である。 ◇ 下校前に、「先生、今日〇〇が楽しかった！またしようや」と笑顔で帰る児童が多い。 ◆ 目標や目的を明確にし、学校生活を送らせたり、下校の時に、明日のイベント等を知らせ、明日の学校が楽しみになるようなお知らせをしたりするなどの工夫をする。	保護者	A	83.9%	40.9%	43.1%	11.7%	4.4%
					地域住民						
					教職員	A	86.7%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%
					児童	A	93.8%	66.7%	27.2%	4.1%	2.1%
		⑧子ども同士、教師と子ども人間関係を大切に、やさしさと厳しさのある学級づくりに努めている。	A	◇ 学級担任は、一人ひとりを大切に授業や学級活動を行うよう心掛けている。しかし、上手くできていないと感じている者もいる。 ◇ クラスで認め合う、支え合う雰囲気になっている。 ◇ 気になることがあれば、すぐに相談できる組織づくりができています。 ◆ 感染症対策を講じながら、人と関わり、成功したり失敗したりしながら成長できる機会をつくる。さらに、学力・体力・コミュニケーション能力の向上を図り、総合的に健全育成を目指す。	保護者						
					地域住民						
					教職員	A	84.6%	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%
					児童	A	96.9%	71.9%	25.0%	2.6%	0.5%

学力 基礎・基本を身に付け、意欲的に学ぶ児童	⑩学校は、子どもの読書活動に力を入れている。	B	◇ 保護者の肯定率が低い。学校では読書をしているが、家庭では読書をしていないことが伺える。 ◇ 児童が本に興味を持てるよう、図書委員会が読書ビンゴの企画をし、児童は図書室に向いて本を楽しむことができた。 ◆ 学校での読書活動の取組を家庭に知らせるとともに、家庭での読書を奨励する。また、図書委員会を中心に、児童が本に慣れ親しむ企画や環境づくりを行う。	保護者	D	52.6%	13.1%	39.4%	35.0%	12.4%
				地域住民						
				教職員	A	100.0%	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%
				児童	B	77.6%	49.0%	28.6%	19.4%	3.1%
	⑪子どもたちは、授業中や集会活動で、自分の意見を進んで発表している。	C	◇ 1学期よりも発表等、活発な授業になっている。しかし、自分から進んで発表できる児童とできない児童の二極化が進んでいる。 ◇ グループ活動では、自分の意見や考えに自信を持って発表し、それを認め合う関係ができてきている。 ◆ 集会やグループ活動だけでなく、一人一台端末を使用して児童の発表意欲を高める方法を工夫していきたい。	保護者	C	67.9%	15.3%	52.6%	27.7%	4.4%
				地域住民						
				教職員	C	60.0%	6.7%	53.3%	40.0%	0.0%
				児童	C	64.3%	39.3%	25.0%	31.1%	4.6%
	⑫子どもの家庭学習の習慣が身に付いている。(学年×10分+α) ※は忘れ物に関する問い	B	◇ 児童の一部に、家庭学習の習慣が身に付いていない児童がいる。その都度指導しているが、なかなか定着しない。引き続き、家庭と連携し、家庭学習の習慣が身に付くよう繰り返し指導していかなければならない。 ◆ 家庭の協力・確認によって確実に学習習慣が身に付くようにしていく。ゲーム時間によっても左右されるので、PTAでスマホ等の使用についてのきまりを作成し、家庭へ呼び掛けを行う。	保護者	A	92.7%	48.2%	44.5%	5.1%	2.2%
				地域住民						
				教職員	C	61.5%	23.1%	38.5%	38.5%	0.0%
				児童	A	97.4%	81.5%	15.9%	2.6%	0.0%
				*保護者	A	89.8%	25.5%	64.2%	8.8%	1.5%
				*児童	A	92.3%	53.1%	39.3%	6.1%	1.5%
⑬ICTを活用した授業改善に取り組むとともに、楽しく分かる授業の実践に努力している。 ※保護者の問い「お子さんは、授業は分かりやすいと言っている。」	A	◇ 児童がタブレットの使用に慣れ、授業で有効に活用できるようになった。 ◇ 授業研究、ICT研修などの校内研修が充実し、楽しく分かる授業を目指して、全職員で授業改善に取り組めた。 ◆ 楽しく分かる授業を目指し、組織的に授業改善に取り組む。ICT機器を使用時の授業と、アナログでの授業の融合を目指し、校内研修の充実を図る。	保護者	A	94.7%	32.8%	61.8%	4.6%	0.8%	
			地域住民							
			教職員	A	86.7%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%	
			児童	A	94.8%	80.9%	13.9%	3.6%	1.5%	
⑭子どもたちは、忘れ物や宿題忘れをせず、朝学習や補充学習、自主学習に意欲的に取り組んでいる。 ※保護者の問い「学校は、補充学習や宿題、自主学習など子どもの学力向上に努めている。」児童の問い「朝学習や補充学習に進んで取り組んでいる。」	A	◇ 忘れ物や宿題忘れについては、家庭の協力もあり、少しずつ減ってきているが、個人差がある。 ◇ 児童は、静かに朝学習、補充学習に取り組んでいる。専科教員も各学年に入り、個別指導を行い、個々の学力定着を図っている。 ◆ 朝学習や補充学習は、全職員で学力定着を目指し取り組む。実施内容を工夫して児童の学力の定着・向上に努める。引き続き、忘れ物や個別指導が必要な児童への対応は、家庭と連携して行う。	保護者	A	94.7%	32.8%	61.8%	4.6%	0.8%	
			地域住民							
			教職員	A	85.7%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	
			児童	A	95.4%	75.5%	19.9%	4.6%	0.0%	

評価委員の意見		学校の対応
人間力①	・ 地域の方からも、小学生の地域での挨拶について高い評価を得ていると思う。小中高一体となって、挨拶のできる子どもを育てていきたい。 ・ 児童の挨拶は良い。 ・ 毎朝、学校の帰りと気持ちの良い挨拶ができています。家庭でも指導しています。 ・ 保護者と教職員の評価が低いのが気になりますが、実際はそうなのだろうと思います。挨拶は、社会生活でも基本となりますので、指導を根気強く続けていただきたい。 ・ 近隣に小学生がほとんどいないので、出会うことはないのですが、ウォーキング中で出会ったときには、できるだけ声を掛けたり、挨拶をしたりするよう心掛けています。声を掛けると返事をしてくれます。	○ 地域の方にも見守られている感謝の気持ちを込めて、しっかり挨拶できるよう、家庭とも連携して指導を継続したいと思います。
人間力②	・ 保護者と児童の評価が「A」に対し、教職員の評価「C」は、少し差がありすぎるのでは？話を聞くことは大人でも難しい。相手の気持ちや話の内容が理解できているか、そこが大切なのでは。	○ 「相手を見て、しっかり話を聞く」について、指導を継続したいと思います。その際、話す側も、児童が話す人の方を向いているかどうかを確認したいと思います。また、話の内容を理解できているかなどを含め、確認していきたいと思います。
人間力④	・ 総じて評価が高いのがすばらしい。学校の指導の表れだと思います。感謝。	○ 時間いっぱい黙って掃除をする児童は、とても多いです。引き続き、「そうじのさしすせそ」を守って掃除ができるように指導していきます。
活力⑤	・ 家でゲームばかりせず、友達と外で遊んだり、スポーツを行ったりする傾向にあります。	○ 天気の良い日は、外遊びを奨励しています。友達と誘い合って外で遊ぶよう、呼び掛けていきます。
活力⑥	・ 新型コロナウイルス感染症への配慮をしながら、子どもたちが意欲的な活動ができるよう工夫できていた。	○ 引き続き、感染症の情勢を見極めながら、意欲的に活動ができるよう、行事や授業を工夫して取り組んでいきたいと思います。
活力⑦	・ 下校前に笑顔で帰る児童が多い一方で、学校を楽しみにしていない児童もいるため、全員が楽しめる工夫を今後も行ってほしい。 ・ 多くの児童が学校に行くことを楽しみにしているので、その気持ちを大切にしながら中学校でもつなげられるようにしていきたい。低い評価の児童4%については、個別の面談や観察が必要である。	○ ハッピーマンデープロジェクトと題して、月曜日に楽しくなる授業や行事を設定してきました。学校が楽しいと思えるよう、子ども目線で取り組んでいきたいと思います。
学力⑨	・ 家庭での読書を奨励する活動を行ってほしい。 ・ 低学年ほど、本を読んでいる。読書量は増加しています。 ・ 家庭（自宅）では、テレビやゲームがあり、読書の時間が取りづらいと思う。何か学校でその日習ったことを、辞典で調べるような工夫が必要。今の時代だから、本でなく、インターネット等を見ることも同様に捉えてはどうか？	○ 読書ビンゴ、多読賞などの企画を行って、読書を奨励しています。保護者の方に、家庭での読書が目に見えて分かるような活動ができるよう、工夫していきたいと思います。
学力⑩	・ 評価指標の中で、唯一のC評価。二極化が進んでいるとのことですが、生涯苦手意識を持つことのないよう、いろいろな場面で工夫した指導をお願いしたい。 ・ 手を挙げた人ばかりに発表させていると、引込み思案な人は発表の機会がなくなる。手を挙げていない人にも指名して発表させることで、前向きな取組となるのでは？	○ 意図的な指名は、日頃から行っています。ペアやグループの少人数の中で発表できる場を増やし、自信を持って発表できる児童を育てていきたいと思います。また、一人一台端末を使って、自分の考えを述べる機会を増やしていきたいと思います。

学力 ⑪	・ 学童や塾などを利用して、家庭学習で足りない部分を補っている家庭もある。各家庭の状況や環境に応じて、家庭学習の習慣が身に付くよう、引き続き指導してほしい。	○ 個別指導も含め、家庭と連携し、家庭学習が定着できるよう、取り組んでいきたいとします。
CS ⑭	・ 中学校では、スマホ・ゲーム利用による生活習慣の乱れ、学力の低下が顕著になっている。何とかしていきたいが、改善の方策を小学校とも模索していきたい。	○ スマホのルールについては、PTAが主体となってルールづくりを行い、今年度中に全家庭に配布予定です。生活習慣については、引き続き、個別指導、家庭への呼び掛けを行っていききたいとします。
CS ⑮	・ 安全・安心は、学校として1丁目1番地となるべきこと。「C」評価の保護者の方には、何が不安、できていないのか、学校に申し出てほしい。（アンケート等を活用）でできた意見を関係者全員で共有し、改善に取り組んでほしい。	○ 毎月の安全点検だけでなく、日々、子どもたちが安全・安心して学校生活を送ることができるよう、教職員で見守っていききたいとします。また、ご意見をいただいたよにアンケート等で確認、改善を図りたいとします。
CS ⑯	・ 学校だよりやホームページは、学校行事等の様子を知ることができ、時々見えています。子どもたちの様子や情報を見ることで、少しでも身近に感じたいと思っています。	○ 学校の情報を詳細にお伝えできるよう、学校だよりの紙面やホームページの内容を工夫していききたいとします。